

母の日のこと

日本で「母の日」が最初に祝われようになったのは教会の中でした。

それは元々アメリカの教会で守られていたからです。

アメリカの教会で守られるようになったのは次のようなことからでした。

アンナ・ジャービスという名前の女の子のお母さんは教会で日曜学校の先生をしていたのですが、それはそれは優しい方で、みんなから慕われていました。

そしてアンナはそんなお母さんが大好きでした。

けれども、そのお母さんは若い内に亡くなってしまったのです。

そのお葬式の時、アンナの希望でお母さんが大好きだった白いカーネーションの花で祭壇を一杯にしました。

そして葬儀が終わるとそのカーネーションをお葬式に来てくださった人々に一輪ずつ母の思い出にして欲しいと差し上げたのでした。

そのことがきっかけになって、お母さんが亡くなっている人には白いカーネーションを、お母さんがいる人には赤いカーネーションを贈って、お母さんへの感謝を表すことがその教会で習慣になり、それが次第にアメリカ中で広まって行ったのです。

日本での母の日の誕生はそういうことでしたが、

しかし母の日は国によって別の日であることもあります。

例えば、イギリスでは3月の第一日曜日に守られています。

遠藤 徹

